

# 平成 29 年度第 7 回技術講演会 自動車の軽量化とマグネシウム適用の将来展望

今、自動車分野はEV・PHVなど非化石燃料車への動きが進み、車体の設計もマルチマテリアル化が進むなど大きな変革の時期を迎えております。実用金属の中で最軽量であるマグネシウムは、環境規制や燃費向上への対策が課題の自動車分野において、車体軽量化の材料として注目され採用されておりますが、EV・PHV化、マルチマテリアル化が進む今後においても有望な材料とされており、特に欧米、中国ではマグネシウム採用の流れが加速しています。そこで当会では、自動車軽量化の展望、そしてマグネシウム適用の展望をテーマとした講演会を企画しました。自動車メーカー、マグネシウムの鋳造部品・鍛造ホイールメーカー、自動車用接着材メーカーを講師に迎え、最新の動向と将来の展望についてご紹介いただく貴重な内容の講演会となりましたので、この機会に是非ご参加ください。多くのお申込みをお待ちしております。

【日 時】 平成 30 年 1 月 26 日(金) 10:00~16:30

【場 所】 科学技術館第 1 会議室(東京都千代田区北の丸公園 2-1) ※別紙地図をご参照ください

【参加費】 <会員>20,000 円 / <一般>30,000 円(税込)

※正会員・賛助会員で 1 企業から複数名参加の場合、2 人目以降は 10,000 円

【定 員】 60 名

【主 催】 (一社)日本マグネシウム協会

【協賛(予定含む)】 (一社)軽金属学会、(一社)日本機械学会、(一社)塑性加工学会、(公社)日本鋳造工学会、  
(一社)軽金属溶接協会、(一財)素形材センター、(一社)日本アルミニウム協会、  
(一社)日本ダイカスト協会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本チタン協会

## <プログラム>

10:00~ 開 会 (開会挨拶 日本マグネシウム協会)

10:10~ ① マルチマテリアル車体の動向とマグネシウムの適用について 日産自動車(株) 千葉 晃司 殿

11:00~ ② 自動車部品用耐熱マグネシウムの鋳造技術 (株)アーレスティ 武田 秀 殿

11:50~ 休 憩

12:50~ ③ 次世代モビリティの動向と軽金属材料への期待 トヨタ自動車(株) 嬉野 欣成 殿

13:40~ ④ マグネシウム合金製鍛造ホイール BBS ジャパン(株) 嶋崎 浩一 殿

14:30~ 休 憩

14:50~ ⑤ マルチマテリアル化する自動車ボディ用接着剤 スリーエムジャパン(株) 今村 健吾 殿

15:40~ ⑥ 自動車のマルチマテリアル化と異材接合技術 マツダ(株) 杉本 幸弘 殿

16:30 閉 会

■参加ご希望の方は、以下にご記入のうえ E-mail あるいは Fax にてお申込み下さい ■

日本マグネシウム協会 事務局行き

E-mail: [office@magnesium.or.jp](mailto:office@magnesium.or.jp) / FAX: 03-3243-0285

平成 29 年度第 7 回技術講演会「自動車の軽量化とマグネシウム適用の将来展望」参加申込書 (H30.1.26)

氏 名	1. 2.	会社名・所属	1. 2.
住 所	〒		
連絡先	Tel :		Fax :
	E-mail :		
【該当するものに○印】 ・区分: [ 会員 ・ 一般 ]			

注 ① 申込後に受講票と講演会参加費の請求書を送付いたします。参加費を請求書に記載の振込先までお振込ください。

② お問合せ: 一般社団法人日本マグネシウム協会 事務局 平野、駒井 Tel 03-3243-0280

## 【会場地図】

■講演会会場：科学技術館第1会議室

■住所：東京都千代田区北の丸公園2-1

■アクセス：東京メトロ東西線「竹橋」下車1b出口 徒歩550m  
「九段下」下車2番出口 徒歩800m



(地図出典：科学技術館HP：<http://www.jsf.or.jp/>)

日本マグネシウム協会 ホームページ

<http://magnesium.or.jp>

こちらからもご覧いただけます。

